平成29年度 学校生活児童アンケート集計結果

〈全学年〉

No.	項 目		5	4	3	2	1	計	全校平均	学年平均						
			とてもそう思う	そう思う	ふつう	あまりそう 思わない	そう思わない		29年度	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	ひまわり
1	学校は楽しいですか。	回答数	316	135	100	16	3	570	4.3	4.4	4.3	4.5	4.2	4.1	4.3	4.6
		割合	55%	24%	18%	3%	1%	100%								
2	進んで授業に取り組んでいますか。	回答数	206	212	131	15	6	570	4.0	4.0	3.9	4.2	4.2	4.0	4.1	3.4
		割合	36%	37%	23%	3%	1%	100%								
3	先生の授業はわかりやすいですか。	回答数	318	158	75	14	5	570	4.4	4.4	4.4	4.6	4.4	4.1	4.2	4.9
		割合	56%	28%	13%	2%	1%	100%								
4	家庭で学習に取り組んでいますか。	回答数	275	150	106	28	11	570	4.1	4.6	4.2	3.9	4.4	4.0	3.9	3.4
		割合	48%	26%	19%	5%	2%	100%								
5	先生は自分の話をよく聞いてくれますか。	回答数	319	148	87	10	6	570	4.3	4.3	4.3	4.4	4.5	4.2	4.3	3.3
		割合	56%	26%	15%	2%	1%	100%								
6	誰に対してでも、自分からあいさつをしていますか。	回答数	249	151	127	31	12	570	4.0	4.3	4.2	4.3	4.0	3.7	3.9	3.6
		割合	44%	26%	22%	5%	2%	100%								
7	友達と仲よくしていますか。	回答数	399	107	50	8	6	570	4.6	4.5	4.6	4.6	4.6	4.5	4.4	4.7
		割合	70%	19%	9%	1%	1%	100%								
8	自分の仕事（係、日直、掃除、委員会等）に、一生懸命取り組んでいますか。	回答数	348	149	58	13	2	570	4.5	4.6	4.4	4.7	4.5	4.3	4.3	3.9
		割合	61%	26%	10%	2%	0%	100%								
9	学校のきまり（廊下を走らない、名札をつける、時間を守る等）を守って生活していますか。	回答数	155	233	140	32	10	570	3.9	4.0	4.2	4.1	3.6	3.5	3.8	3.3
		割合	27%	41%	25%	6%	2%	100%								
10	運動会などの学校行事は楽しいですか。	回答数	354	112	82	15	6	569	4.4	4.7	4.5	4.5	4.5	4.2	4.1	4.7
		割合	62%	20%	14%	3%	1%	100%								
11	たてわり（つばさ学級）の活動は楽しいですか。	回答数	334	114	93	15	12	568	4.3	4.5	4.5	4.6	4.3	4.0	3.8	4.3
		割合	59%	20%	16%	3%	2%	100%								
12	休み時間は外で遊んでいますか。	回答数	253	116	112	57	31	569	3.9	4.3	4.3	4.0	4.0	3.3	3.3	4.1
		割合	44%	20%	20%	10%	5%	100%								

【考察】

評価は5段階で、5…とてもそう思う 4…そう思う 3…ふつう 2…あまりそう思わない 1…そう思わないとした。平均から判断すると、どの項目もよいという結果となった。No.1はその後の項目全てに関わることであるが、どの学年も4以上であることから学校生活には満足していると言える。「そう思わない」という3名は誰かわからないが、アンケートを採った時の心の状態がよくなかったことも考えられる。年に2回行う担任と児童との教育相談で、児童の思いは大方把握している。授業に関しては、自分の態度より先生の指導の数値が上回っているのが面白い。子どもたちにはもっと頑張ってもらいたい。No.5については、4年生のあるクラスは31名中、28名が「とてもそう思う」という結果だった。先生が厳しくてもこういう面を大切にすることで信頼関係が成立する。ひまわりの結果が意外である。No.7については、どの学年も平均4.5を上回った。8から12にかけては学年が上がるごとに数値が下がっていく。これは発達段階と大いに関係してくる。特にきまりを守ることについては、顕著になるが、6年生がわずかではあるが5年生を上回っている。学年児童の性格を物語っていると見える。No.12は、高学年の先生が頭を悩ませる問題である。